

都市間交流を促進

姉妹都市・友好都市交流促進事業—決算額303万円

姉妹都市提携50周年を迎えたアメリカ合衆国オレゴン州オントリオ市、友好都市和歌山県日高郡日高川町との市民相互の交流を促進するため、大阪狭山市都市間市民交流協会に補助金を交付し、様々な事業の実施を支援しました。

《姉妹都市・オントリオ市との交流促進事業》

学生派遣事業では、令和7年3月13日～26日の14日間、高校生4人と大学生3人を派遣し、オントリオ市の人々と交流を通じて国際理解を深めました。



また、50周年記念事業として、令和6年10月12日～18日の7日間、オントリオ市から訪問団員14人を受け入れ、狭山池博物館の見学や、市内の小・中学校訪問、記念植樹などを行いました。記念式典では、剣舞、ダンス、太鼓などのパフォーマンスが披露され、参加者同士が交流をさらに深めました。



《友好都市・日高川町との交流促進事業》
ホテルまつり「寒川ワンダフルナイト」への参加や、「日高川町フォレスト祭」でのPRブースの出展などを通じて交流を行いました。



高齢者がこれまで暮らしてきた地域で安心して生活をするには、通院や買い物などに伴う移動・外出が欠かせません。超高齢社会を迎え、市でも、外出に困難を抱える人が増加しています。

そこで、介護保険の要支援や要介護認定を受けた人で、外出が困難な高齢者に対し、地域住民などの参加と協力による「さやりんおでかけサポート」を令和6年10月から試行しました。

この事業は、市民ボランティアが、外出時の運転と併せて病院内の付き添いや、買い物などにおける荷物の運搬など、高齢者の移動支援と生活支援を一体的に実施するものです。高齢者の外出の促進による健康増進や、見守りをはじめ人とのふれあいや交流につながることも、地域のボランティアを育成し、地域づくりの醸成につなげることをめざしています。

今後地域住民などが「地域の主役」として参画し、市民一人ひとりが幸せや生きがいを感じるとともに、つながり、助け合うことで、地域全体としても幸せや豊かさを感じられる良い状態（ウェルビーイング）となるよう取り組んでいきます。

- 利用登録者数 187人
 - ボランティア登録者数 49人
 - 利用件数 372件
- (令和7年3月末時点)

「さやりんおでかけサポート」で、高齢者の外出を支援

高齢者移動支援事業—決算額962万円

